

オーデフレッシュF100Ⅲ

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆☆

特長

つや有り、7分つや有り、
5分つや有りから選べます。

① 高耐久性

高耐候性ふつ素樹脂に最先端の1液水性反応硬化技術を組み合わせ
当社独自の技術により、すぐれた耐久性を実現しました。

② 低汚染性

親水化技術により外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から建物をまもり、
美しさを長持ちさせます。

③ 多彩な仕様

各種外壁の塗り替えに幅広く適用できます。また各種下塗りを組み合わせ
ることで、軸体のひび割れに対し、抜群の遮断性、防水機能を発揮させる
ことができます。

④ 防藻・防かび機能

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

⑤ オール水性システム

下塗りから上塗りまで全て水性塗料での施工が可能です。
取り扱いが安全で、低臭です。環境にやさしい水性塗料です。

■標準塗装仕様（塗り替え）

工 程	塗 料 名	塗り回数	使 用 量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23°C)	希 釀 剂	希 釀 率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、清掃する。						
下 塗 り	ニッペバーフェクトフラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウールローラー
			0.50~0.90			1~5	砂骨ローラー
						2~5	タイルガン*
中 塗 り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー はけ エアレススプレー
上 塗 り	オーデフレッシュ F100Ⅲ	1	0.14~0.17	—	水道水	5~10	ウールローラー はけ エアレススプレー

* ニッペバーフェクトフラーをタイルガンで施工した場合ゆず肌になります。

* 上記ニッペバーフェクトフラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをお勧めします。（作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。）

* 上記の各数值は、標準的な数值です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

* 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

* 活膜は、健全な状態であることを想定しています。

* 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。）

* 吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。

* 塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

* 新設時は下塗りにニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。

《適用下塗り塗料》		《適用下地》(塗り替え改修用)
外 壁	<ul style="list-style-type: none"> ・バーフェクトサーフ ・バーフェクトフラー ・DANフィラーエボ ・DANフィラーエボS ・DANフィラーリフレックス ・水性カチオンシーラー ・アンダーフィラー弾性エクセル ・DANタイル中塗 	<ul style="list-style-type: none"> ● モルタル面 ● コンクリート面 ● 窯業系サイディングボード ● ALCパネル面

各種旧塗膜の上



ペイントかわら版
読者募集!
登録無料
いますぐご登録を。



※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
<http://paintkawaraban.jp/form/>

オーデフレッシュF100Ⅲ

塗料性状、荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m ² /回)	塗装方法
オーデフレッシュF100Ⅲ	各色	つや有り・7分つや有り・5分つや有り	15kg	水道水	5~10%	0.14~0.17	はけ・ウールローラー・エアレススプレー
オーデフレッシュ共通中塗	各色	つや有り	15kg	水道水	5~10%	0.14~0.17	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- 1.中塗りは必ずオーデフレッシュ共通中塗りをご使用ください。
- 2.絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 3.番熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リシン、弹性スタック、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥離していることがあります。そのまま塗装すると剥離がさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、遮熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥離、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 4.塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でない状況が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 5.鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- 6.防藻・防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 7.被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 8.著しい汚染が発生しそうな個所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 9.塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 10.色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 11.乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- 12.スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 13.乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがあります、時間とともにになります。
- 14.反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーソンナーで洗浄してください。
- 15.動物のはけは、はげが固まつたダメージになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 16.旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 17.既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 18.風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペー液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 19.塗り替え時のシーラーは、ワルトラシーラーⅢまたは水性カチオングリーナーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを発生させることができます。
- 20.シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 21.タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることができます。この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜の養生を行なってください。
- 22.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H1500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 23.表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイターンなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 24.ALC面、多孔質下地、コングリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンバーテの使用は避けてください。)
- 25.内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

安全衛生上の注意事項（オーデフレッシュF100Ⅲ ホワイト）

- 1.本来の用途以外に使用しないでください。
- 2.粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸氣／スプレーを吸入しないでください。
- 3.取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 4.この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 5.気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
- 6.口をすすぐでください。
- 7.容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 8.吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 9.吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸やすい姿勢で休息させてください。
- 10.施錠して保管してください。
- 11.直射日光や水濡れは厳禁です。
- 12.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 13.容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)

横倒禁止

- 14.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度にばく露しないでください。
- 15.塗料、塗料容器、塗装工具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- 16.容器、塗装工具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 17.内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

■詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内の使用に限定し、輸出される場合には事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿 支 店 ☎06-6455-9608
東 北 支 店 ☎022-232-6712 中 国 支 店 ☎082-281-2180
関 東 支 店 ☎03-5479-3614 四 国 支 店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九 州 支 店 ☎092-751-9861
中 部 支 店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2020 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Y021

TY200506T

2020年5月現在